令和7年度 川崎市財政読本

財政のはなし

かわさきを元気に動かす私たちのお金

155万人のおさいふについて知ろう！

令和7年度 生命（いのち）を守る安全・安心予算 …… 1

①「予算」は目的に応じてつくられています …… 2

②一般会計は市の予算の中心 最も大きな「おさいふ」です …… 4

③市民1人あたりの予算の使い道は? …… 6

④市民生活に身近なことに予算が使われています …… 7

⑤川崎市におけるふるさと納税の現状と取組 …… 8

⑥行政サービスは、市税のほかに市債（借金）によっても賄われています …… 10

⑦みんなのまちづくり …… 12

Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和7年度

生命（いのち）を守る安全・安心予算

皆さんが笑顔のまま、安全に、安心して川崎で暮らしていけるように、市は7年度もあらゆる取組を進めていきます。市民の皆さんの生活に身近な内容を中心に、今年度、市が重点的に取り組む施策を紹介していきます。

災害、暑熱、犯罪などから大切な命を守るために

災害時のトイレ対策を強化します

2億2,799万円

避難所や市立学校などで、2日間分の備蓄を確保できるように、約95万枚の携帯トイレを整備します。また、全ての避難所にマンホールトイレを設置するために、調査を進めます。

体育館の空調設備の整備に着手します

2億9,170万円

全ての市立学校の体育館へ早期に空調設備が整備できるよう、調査などを進めていきます。

安心して子どもを産み育てられるように

妊婦健診の公費負担を増やします

16億5,210万円

妊婦健診の公費負担を増額します。また、健診情報等を相談支援や保健指導に活用することにより、妊婦の健康づくりや生活習慣の改善などの支援の充実につなげます。

手続きなどのデジタル化を進めます

4億4,248万円

これまで区役所の窓口などで行う必要があった手続きなどが、かわさき子育てアプリから簡単に行えるようになります。

さらに詳しい情報はこちらをご覧ください▶https://www.city.kawasaki.jp/230/page/0000173806.html

01 「予算」は目的に応じてつくられています

予算って何？

市では、教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な行政サービスを市民に提供していますが、どのような行政サービスにどのくらいお金を使うかについて、あらかじめ決めておく必要があります。そこで、新しい年度が始まる前に、税金などの収入（歳入）と、行政サービスの費用などの支出（歳出）の金額を見積もり、事業の内容を計画します。この見積もりを「予算」といいます。

「予算」は市長が案をつくり、市議会が決定します。

目的などに応じて「予算」は大きく3種類あります。

企業会計

市営バスや病院などは、それ自体が民間の会社のように活動していて、基本的に自らの収益で運営されています。川崎市には現在5つの企業会計があります。

病院事業

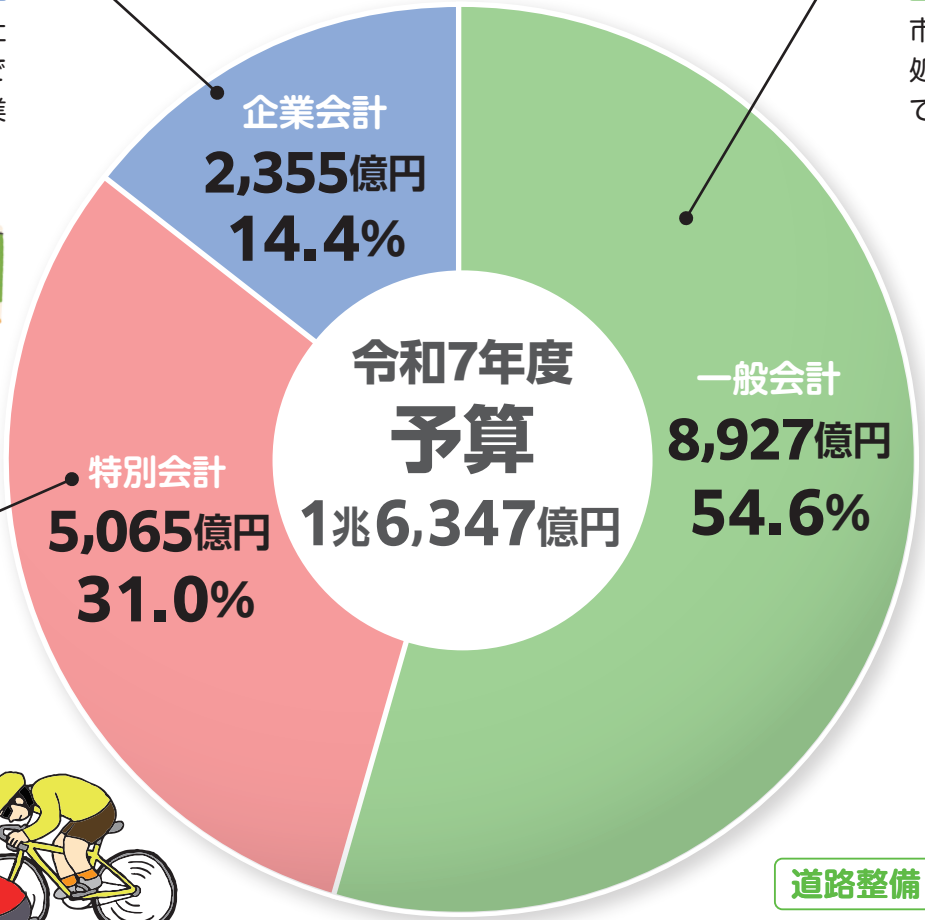
バス事業

特別会計

国民健康保険や競輪なども市の仕事の一部です。これらは特定の収入があるため独立した予算で収支を明確にし、一般会計とは分けています。川崎市には現在13の特別会計があります。

国民健康保険

競輪事業



一般会計

市の基本的な仕事（教育、福祉、ごみ処理、消防、道路整備など）を行う予算です。主に市税で賄われています。

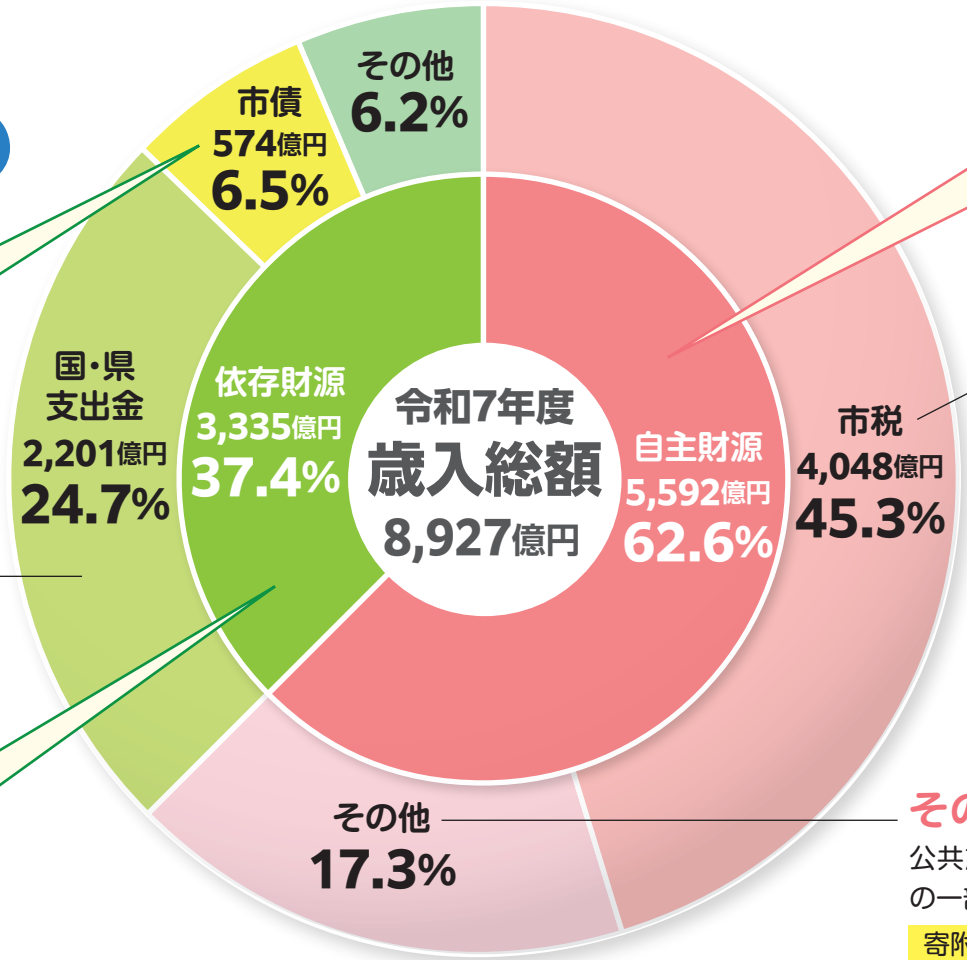
教育

福祉

道路整備

02 一般会計は市の予算の中心 最も大きな「おさいふ」です

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。よりよい行政サービスを提供するため、市民が納める税金などのお金をあらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。



市債とは

市の施設をつくるためなどの目的で行う「市の借金」です。市債は市民も買うことができます。 関連記事⇒P10

国・県支出金

国や県から使い道を指定して交付されます。

依存財源とは

国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金のことです。

自主財源とは

市が自主的に集めることのできるお金。この割合が高いほど自主的な運営がしやすくなると考えられます。

市税

主に個人や法人が納める市民税、土地や家屋などに課税される固定資産税が2本柱となっています。

その他

公共施設の使用料、宝くじの収益金の一部及び寄附金などがあります。

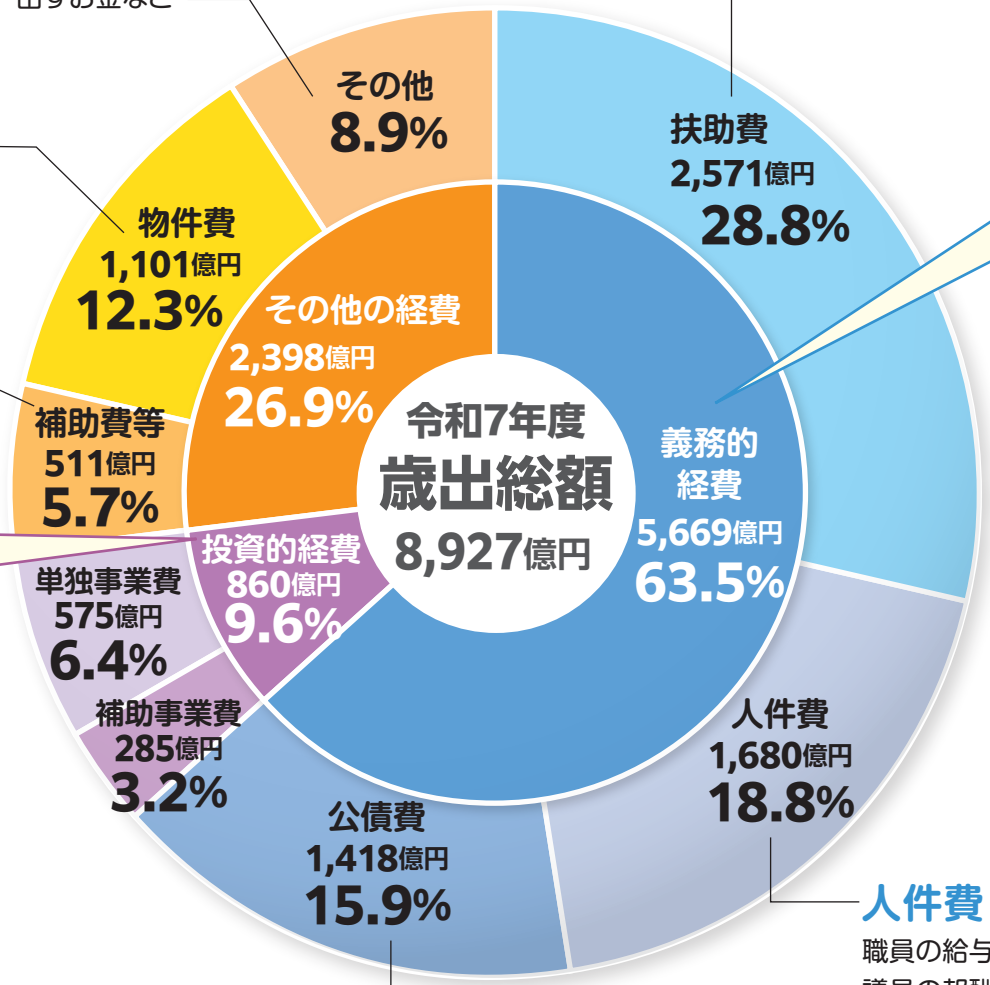
寄附金について関連記事⇒P8

その他
市内の中小企業を支援するために貸すお金、他会計に出すお金など

物件費
施設の管理費など

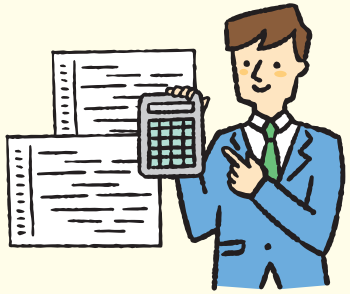
補助費等
事業や団体への補助金など

扶助費
子育てをしている方々や生活に困っている方々への支援など



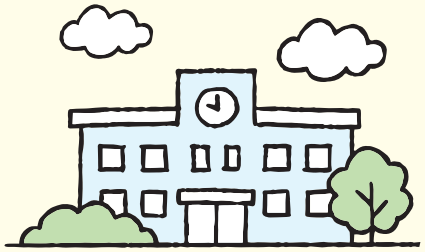
義務的経費とは

歳出のうち、必要となる見込みの金額が決まっていて、支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費のこと。
職員の給与などの人件費、生活保護費などの扶助費及び市債の償還（借金の返済）のために必要な公債費からなっています。



投資的経費とは

道路や学校の建設費など。国の補助を受けて行うもの（補助事業）と、市が単独で行うもの（単独事業）、また、災害で壊れた道路などをなおすために行うもの（災害復旧事業）があります。



人件費
職員の給与や議員の報酬など

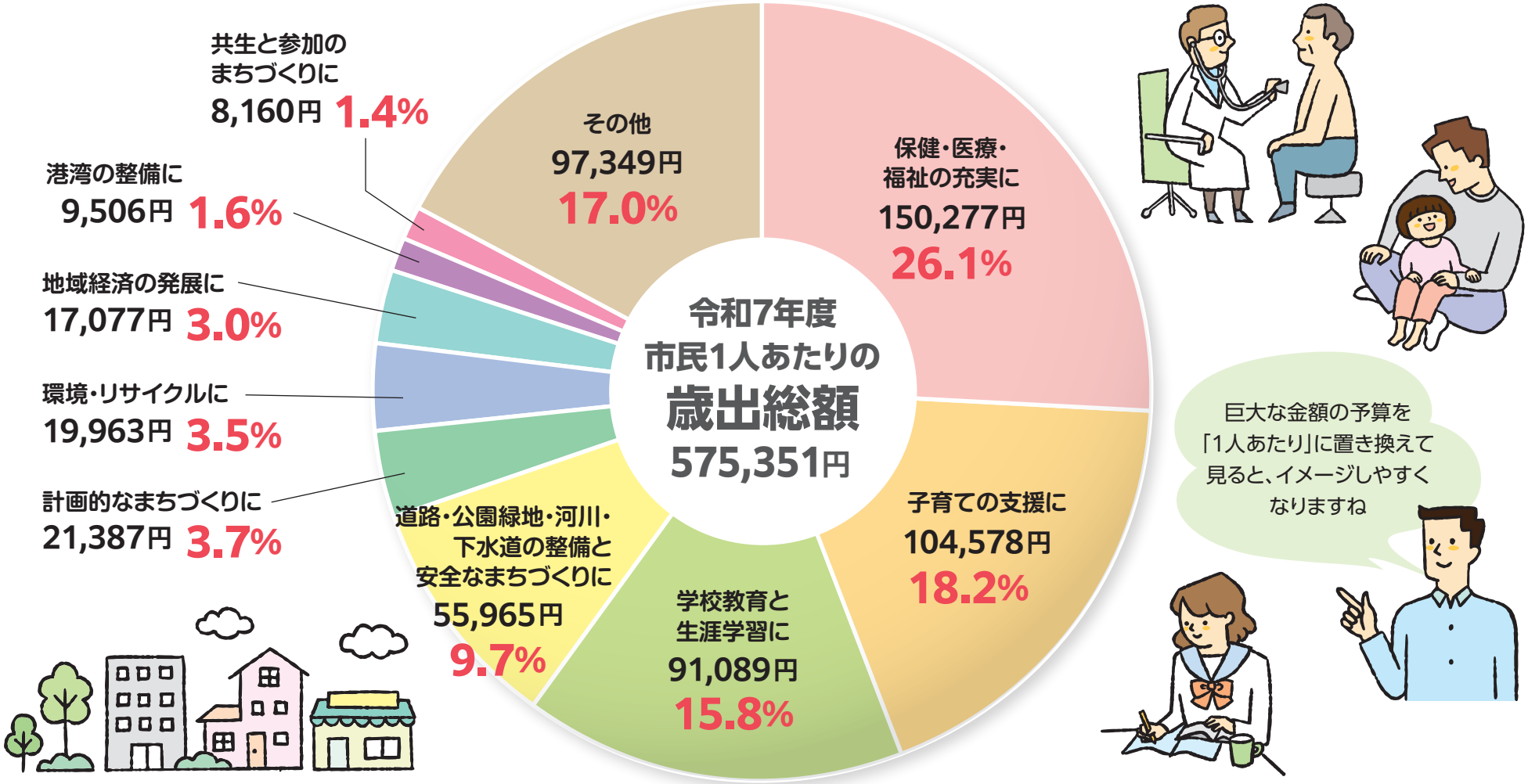
公債費
市債の償還（借金の返済）など

関連記事⇒P10

義務的経費はいわゆる「固定費」と考えることができますね

03 市民1人あたりの予算の使い道は？

一般会計予算（8,927億円）を人口で割り、1人の市民にとって予算がどんな割合で使われているかを図にしました。



※令和7年1月1日現在の推計人口:1,551,662人として計算

04 市民生活に身近なことに予算が使われています

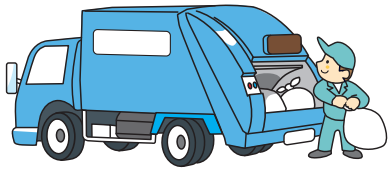
日常的な光景でどのくらいの予算が使われているかはわかりにくいものです。
身近なものとして実感しやすい、いくつかの例を紹介していきます。

ごみ処理　ごみ、資源物の収集処理に要する経費

ごみの収集や焼却、資源物のリサイクルにかかる経費など

年間156億円　世帯数:784,602世帯（令和7年1月1日現在）

1世帯あたりの負担額
年間19,912円



子育て　保育園の運営に要する経費

公立保育園、民間保育園の運営費など

年間670億円　対象園児数:34,646人（月平均）

園児1人あたりに必要な経費
年間1,934,633円

環境　公園の維持管理に要する経費

草刈や樹木の剪定にかかる経費など

年間42億円　公園管理面積:7,710,415㎡（市民生活に身近な公園＝約2,500㎡の広さが目安）

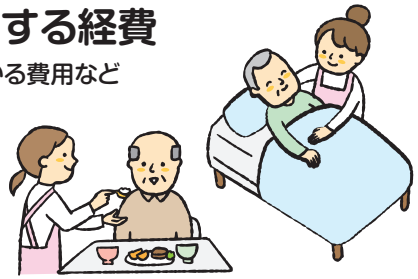
2,500㎡あたりの経費
年間1,368,367円

福祉　介護保険サービスに要する経費

介護サービス、介護予防の実施にかかる費用など

年間1,174億円　要介護・要支援認定者数:66,235人

対象者1人あたりに必要な経費
年間1,772,508円

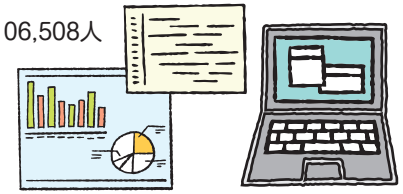


教育　「かわさきGIGAスクール構想」の推進に要する経費

インターネット回線の増強にかかる経費など

年間10億円　市立学校・学級・児童生徒数:106,508人（令和7年5月1日現在）

生徒1人あたりに必要な経費
年間9,562円



防災　川崎市の防災に要する経費

マンホールトイレの整備など

年間259億円　川崎市の人口:1,551,662人（令和7年1月1日現在）

市民1人あたりの負担額
年間16,686円

05 川崎市におけるふるさと納税の現状と取組

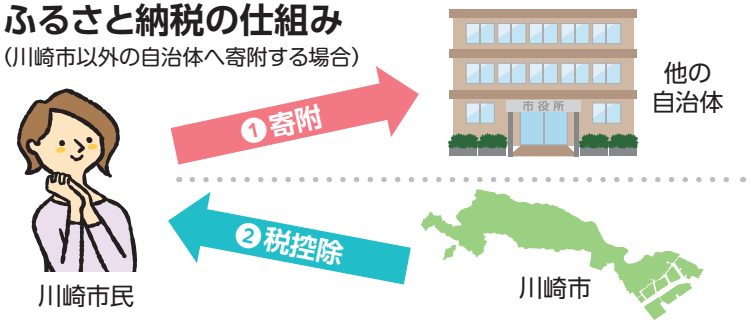
市税の意義と役割

これまで見てきたように、欠かすことのできない様々な行政サービスの多くは、皆さまが住む川崎市が担っていますが、それは主に皆さまで分かち合いながら負担いただいている市税により賄われています。市税は、皆さまが地域で暮らしていくうえで必要な社会共通の費用に使うための「会費」のようなものです。

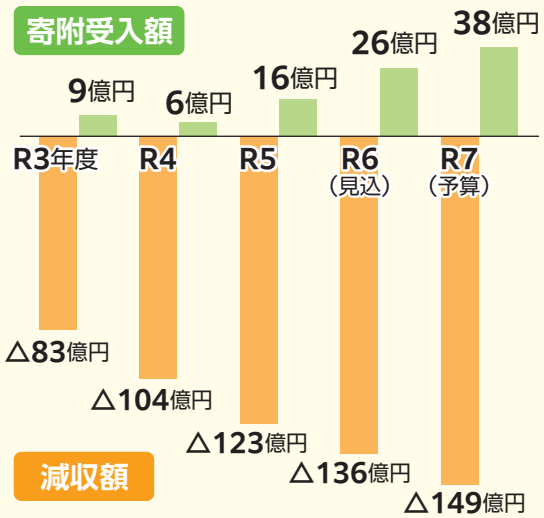
ふるさと納税とは?

ふるさとを応援したいという納税者が、住んでいる地域（＝自治体）以外にも寄附ができる制度であり、寄附額の一部を市税から控除（＝税金の計算から除くこと）することができます。
※多くの自治体において寄附した金額に応じた返礼品を用意。

ふるさと納税の仕組み
（川崎市以外の自治体へ寄附する場合）



ふるさと納税の現状

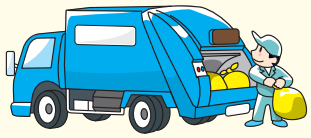


寄附受入額は
38億円

市税の減収額は
149億円

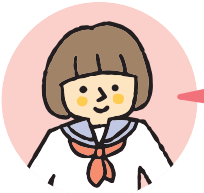
＊令和7年度当初予算時点の見込み

149億円は約75万世帯分（市の全世帯の約96%）のごみの収集・処理年間経費と同程度です。



「ふるさと納税」によって流出している市税は、
本来は、私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。

ふるさと納税は、税の使い道をご自身で選択することもできる制度です。川崎市を応援していただくための取組を進めています。



ふるさと納税の使い道は？

川崎市では寄附金の使い道として、多様な「寄附メニュー」の中からお選びいただいています。

例えば… 学校ふるさと応援寄附金

令和5年度 寄附受入額：約1,800万円

※法人・団体からの寄附を含む合計

希望の学校を指定して寄附することができ、学校の車いす、実験用器具、楽器、スポーツ玩具の購入等、各学校の学校生活に役立てられています。

他にも、寄附金の使い道を、より具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感していただいた方からふるさと納税を通じて、寄附金という形で支援いただく仕組みである「クラウドファンディング」を実施し、寄附を募っています。

例えば… 秋の風物詩となった川崎市制記念多摩川花火大会の伝統をつなげていこう！

昭和4（1929）年に始まり、多くの市民に愛され続けてきた歴史ある花火大会の伝統を次世代に継承していくため、寄附を募るものです。

川崎市の返礼品はどんなものがあるの？

川崎市ならではの魅力的な返礼品を用意しています。

※返礼品の提供は川崎市民以外の方が寄附をされた場合に限ります。

市内メーカーによるワイヤレスイヤホン

再生紙100%環境に優しいトイレットペーパー

タクシーで臨海部の工場夜景をめぐるツアー

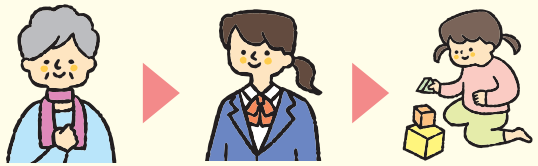
さらに詳しい情報は川崎市ふるさと納税特設サイトをご覧ください▶https://kawasaki-furusato.com/

06 行政サービスは、市税のほかに市債（借金）によっても賄われています

市はなぜ市債の発行をするの？

学校などの公共施設を建てるために、多額のお金が必要ですが、その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建設費を負担するのは、その時の市民だけになってしまい不公平が生まれますし、ほかの行政サービスに予算が回らなくなるなどの影響が出てしまいます。そのため、市債を発行して借入をし、将来の市民にも平等に負担をしてもらうようにしているのです。

それぞれに納税者となる時期が異なるので…

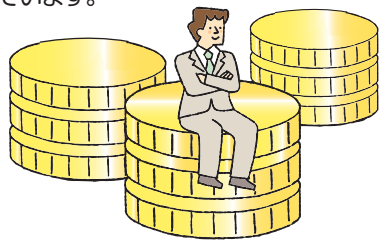


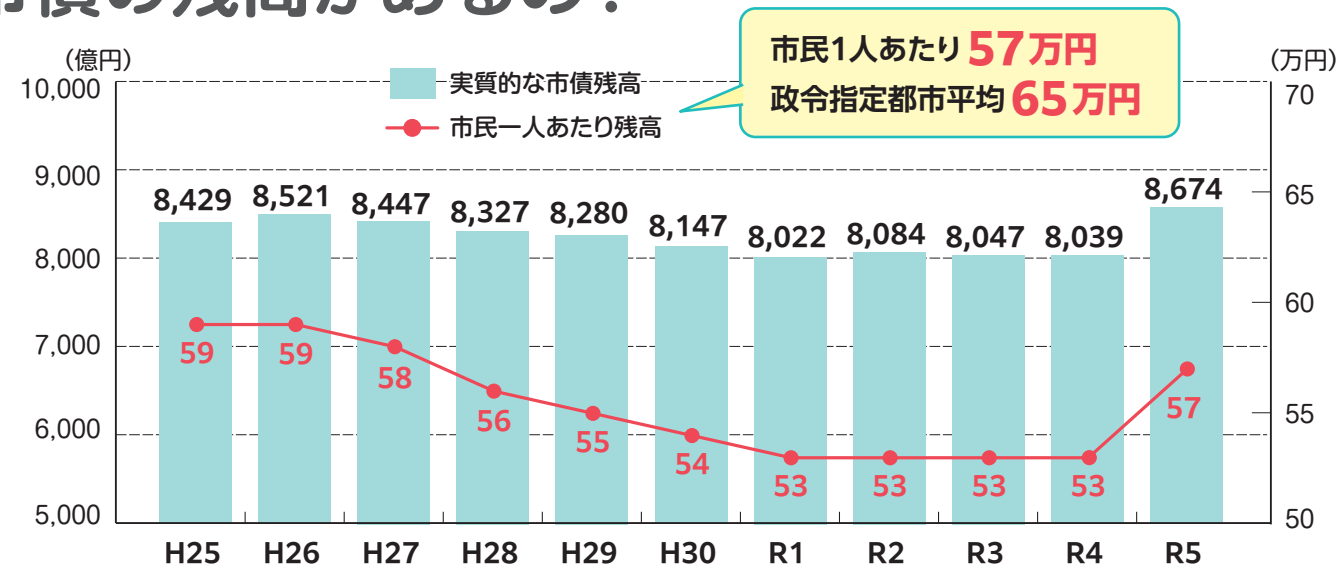
最初の年～10年後の税で負担 ▶ 11年後～20年後の税で負担 ▶ 21年後～30年後の税で負担

どれくらい市債の残高があるの？

実質的な市債残高と市民一人あたり残高の推移
（普通会計決算額）

全体の市債残高から積立（貯金）分を差し引いたものが「実質的な市債残高」です。この積立については次のページで説明しています。

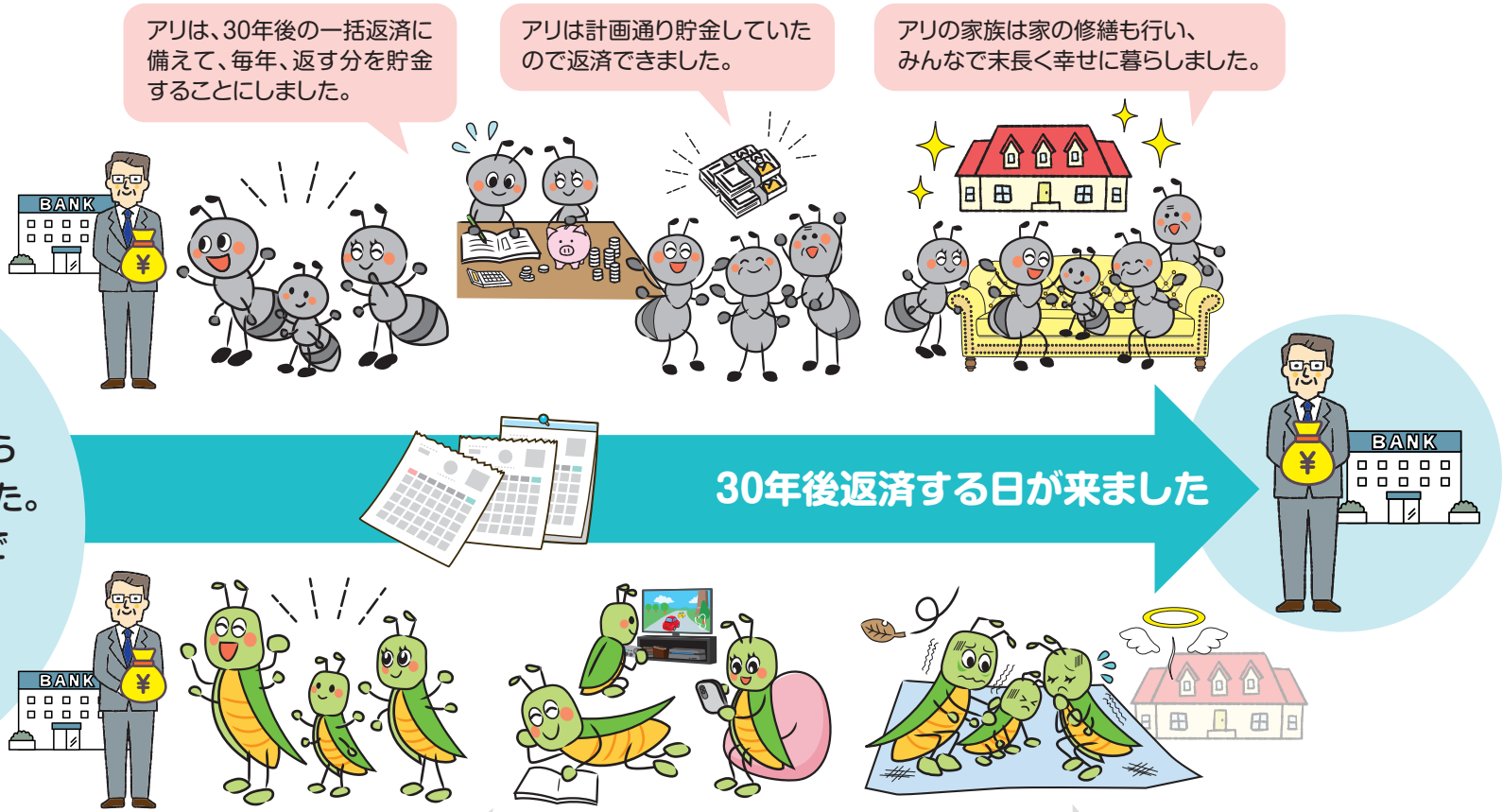




市債を返すお金はどうやって用意するの？

返済計画って大事！

アリとキリギリスは銀行からお金を借りて、家を建てました。銀行へは、30年後に一括で返す約束です。



返済のために計画的に貯金しないと世代間の負担が不公平になったり、次の世代に負担を先送りすることになってしまいます。計画に基づき、貯金していくことはとても重要です。

07 みんなのまちづくり

「03 市民1人あたりの予算の使い道は?」を参考に、①、②へあなたの予算 **100億円** を配分してみよう!

① 次の「使い道」の予算配分を考えよう

1	保健・医療・福祉の充実に 例えば…民間特別養護老人ホームの整備促進	R7予算 26億円	あなたの予算 億円
2	子育ての支援に 例えば…妊婦健康診査の支援	R7予算 18億円	あなたの予算 億円
3	学校教育と生涯学習に 例えば…市立学校の体育館等の空調設備の整備	R7予算 16億円	あなたの予算 億円
4	道路・公園緑地・河川・下水道の整備と安全なまちづくりに 例えば…平瀬川・多摩川合流部における治水対策	R7予算 10億円	あなたの予算 億円
5	計画的なまちづくりに 例えば…登戸・向ヶ丘遊園駅前広場の整備	R7予算 4億円	あなたの予算 億円
6	環境・リサイクルに 例えば…プラスチック資源のリサイクル	R7予算 4億円	あなたの予算 億円

7	地域経済の発展に 例えば…新技術・新製品開発に要する経費への補助	R7予算 3億円	あなたの予算 億円
8	港湾の整備に 例えば…川崎港コンテナターミナルの設備更新	R7予算 2億円	あなたの予算 億円
9	共生と参加のまちづくりに 例えば…障害者スポーツ大会の開催	R7予算 1億円	あなたの予算 億円

①合計　億円

② より良いまちとするために、残った予算の使い道を自由に考えよう

	あなたの予算 億円
	あなたの予算 億円

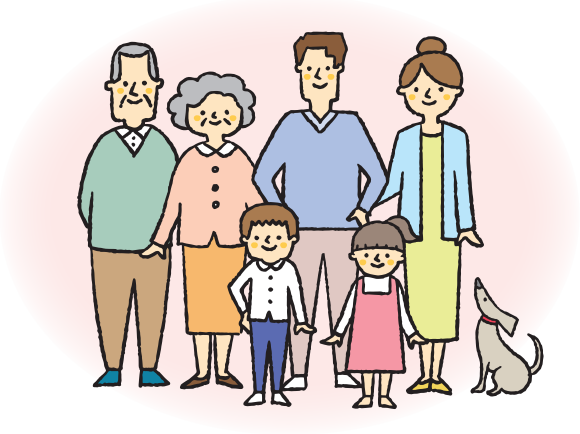
②合計　億円

①＋②合計　100億円

③ あなたが考えるまちづくりは

「最幸のまち かわさき」をめざして

「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤づくり」の3つの視点で、それぞれの施策を進め、誰もが幸せを感じられるまちの実現を目指していきます。



※最幸とは…川崎を幸せあふれる「最も幸福なまち」にしていきたいという思いを込めて使用しています。

▶さらに詳しい情報はこちらをご覧ください

川崎市　財政　検索

https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-3-0-0-0-0-0-0-0-0.html

▶ご意見・ご感想をぜひお寄せください

アンケートにご協力ください　https://logoform.jp/f/QCH8H

川崎市財政局財政部庶務課

電話 044-200-2176　FAX 044-200-3904

Email 23syomu@city.kawasaki.jp